

留学記

～ドイツ・ヴェルツブルク音楽大学～



かきほらほるな
垣原遥愛 岩見沢校音楽文化専攻（ヴァイオリン）

留学から得たもの

一番に挙げたいことを一言でまとめると、**異文化理解**です。

専門分野への理解を深める鍵は、意外なところに隠れています。私の場合は、人々が生まれ育った国や地域それぞれの言語や習慣が、各人の感性の違いを生み出していることに気がきました。（この経験は、演奏する曲や作曲家をより理解し、ふさわしい表現方法を考える際に活かしたいと思っています。）道行く人、旅行先で目にする人々、語学学校で出会う人たちの、顔、服装、言葉のアクセント、身ぶりの使い方、言葉の選び方、そこからわかる考え方や性格に注目するようにしました。誰かの会話が聞こえてきたときには必ず、「これは～語かな」と予想を立てました。学内オーケストラに参加できた時には、周囲の学生たちの様子や態度、出身地の異なる先生たちの様子にも注目しました。

ヨーロッパ内、あるいはアジア内であっても国や地域による違いがあることを知り、アフリカや中東などの馴染みのなかった文化に出会うこともありました。さらにそこからの視点で日本を見たときに、今まで気づかなかった良さや特長に気付かされる、という感動的な体験もできました。かけ離れた地域同士の共通点を見つけるのも面白いですし、誰かと自国の文化や感じ方を話し合うのも興味深く楽しい時間でした（出身都道府県の異なる日本人同士の会話も同様の面白さがありました）。様々な国や地域に旅行をし、その地の歴史や空気に触れ人々の姿を観察すること。留学先の学校、語学学校、旅行先で出会う外国人と積極的にコミュニケーションを取る（ここで留学先の言葉だけでなく英語が役立ちます）。この2つは本当に大切です。練習室に籠ってひたすら練習することは、自国でもできます。むしろ外に出て、人と接し、自国とは違うアプローチ方法や感覚を学び取ることが留学の醍醐味なのではと思います。



左：語学学校帰りのバスにてクラスメートたちと

右：ウーデ門下発表会終演後

留学中の心構え

目に見える**結果を期待し過ぎない**ことをお勧めします。この期間で何か明確に変わらなければという自分へのプレッシャーが大きくなり精神的に追い詰められてしまうからです。ただでさえ留学地では一人で頑張らなければならないシチュエーションが多く、特に最初は神経が張り詰めがちになります。日本と違う文化や日照時間に慣れず疲労が溜まることもあります。コンクール入賞などの具体的な目標をもって取り組むのも良いことですが、挑戦することそのものも意義とみなし、その結果だけを「留学の成果」として見ないようにしましょう。むしろ、留学地で得たものを留学後にじわじわ活かしていくための**貯蓄期間**とみなした方が、余計な肩の力を抜いて幅広く吸収できるように思います。また、客観的に自分を見てくれるような長年の友人や先生、家族と**定期的に電話**をし、**視野を狭めない**ようにしましょう。(学部
の交換留学だと現地の日本人は年上ばかりのため、タメ口で気持ちを吐露できる機会が少ないという実情がありました。)



左：レジデンツの庭園でワイン祭り

中央：広場開催の Wein Dorf にてシュニッツェルとルバーブボウル

右：ピザが美味しい Locanda にて (全てヴェルツブルク)

留学前にしておくの良いこと

★専門分野や、学びたいと思っている分野に関する研究・・・読書やセミナー

あらかじめ知識を積んでおくと、外国語でのレッスンやセミナーにおいて理解がしやすくなり、さらなる細かい知識へのアプローチがしやすくなります。**現地で知りたいこと、聞きたいこと、取り組みたいものを具体的にリストアップ**したり、それぞれにいつ取り組むか期限を設けたり、どんな挑戦をしたいかなどをイメージしリサーチしておくの良いでしょう。

★語学実技の訓練

本を使って学んだ外国語も、実は**口・舌を訓練**していないと使えません。演奏と一緒です。

“Wie geht es ihnen(お元気ですか)?”と言おうとして、言葉はあっているのに口が全然回らず、がっかりしたことがありました。「とにかく現地で覚えよう!!」という考え方は危険で、基本がわかっていると頭の中での文章組み立てができず、使えずじまいになってしまいます。(私がそうでした。この点で英語は中高で学んだことを活用できたため、友達と会話するうちにかなり上達することができました。) **頭(紙面)と口(発音)で定型文をたくさん勉強**しておくことにより、それを頭の中で文章を組み立てて話す、という実技応用が現地でできるようにしておきましょう。

また現地の語学学校は、決まっているレベルを自分で希望できるものもあれば、入校時に試験があり、その結果によりクラス(レベル)分けがされてしまうものもあります。基礎力をあらかじめ付け、A2、B1、B2 など自分のレベルを分かった状態で現地の語学学校に通えるようにしておきましょう。ですから留学前に**会話や検定受験のできる教室に通っておく**ことをお勧めします。

★アルバイトや資金計画

もちろん教育大での学生生活は忙しいですが、留学中の旅行やセミナー、コンクールなどの経験のため、資金はないよりはあったほうが良いです。奨学金を使い果たして留学後に切羽詰まるという状況も避けたいところなので、早めに計画を立てておきましょう。一人暮らしをしたことがない人は、留学地での食費の使い方で後悔しないよう、経済的な買い物の仕方や料理を親などから学んでおく安全です。

★日本食ストック

お米やアジア系カップ麺、醤油、緑茶は意外とスーパーやアジアショップで購入することができます。持参すると良いものは、**美味しいインスタント味噌汁、カレーやシチューのルー、せんべい・珍味系お菓子、羊羹や最中などのあんこ系お菓子**です。あんこやお餅はヨーロッパでは好まれないためか売っていません。それほど好きでなくてもなぜか恋しくなるので、日本風のものの持参をおすすめします。ただし、賞味期限があるので欲した時に迷わず消費してください。



左：WINで留学生達と日帰り旅行

右：ヴェルツブルク郊外の街、

Sommerhausenにてワイン畑からの下り坂



おすすめ旅行地

ヴェルツブルクには外国人向けの旅行企画団体WINがあり、同じ地域の留学生同士が友達になれる機会となっています。ほかにもヨーロッパ内の学生向けの旅行プランや格安バスFRIXBUSを有効活用して知見を広め、新たな出会いを楽しみましょう！！

スイス FRIXBUSや観光列車で山道を経由するだけで感動的！！睡眠不足でない状態で、動画を撮る容量確保のうえ日中に通ってみてください！物価はとて高いです。おつりがユーロでなかったりします。

スペイン 英語が通じないことも多いですが、食事が本当に美味しく、観光名所がたくさんあり、お土産も豊富です（商売人の押しの強さに注意）。バルセロナ、マドリード、トレドがお勧めですが、旅行を決める前に必ず治安状況を確認してください。道でパフォーマンスをする大道芸人がたくさんいますが、撮影はチップを払ってからすること！（広場で歩きながらスマホを向けるとパフォーマンスをやめられ、「お金置いてけ！！」と叫ばれました。逃げたけど普通に払っておけばよかったと後悔しています…金額は自分で決められるので。）

フランス とて上品で美しい街がたくさんあります。コルマール、エギスハイムは可愛くておすすめです。特にジブリやディズニーが好きの方はぜひ訪れてみてください。アルザス地方はスーパーに売っている桃系の果物が美味しかったです（ヨーロッパでは果物そのまま食べ歩きは日常です）。

イタリア 治安は悪めで、鞆は前に持つなど常にスリに気を付ける必要がありますが、食事や歴史的建造物などを楽しめる観光地がたくさんあります（私はドイツからスイス経由のバスで訪れました）。ヴァイオリン工房やストラディバリウス博物館の見学、オペラ鑑賞など、音楽をテーマに楽しむこともできます。クレモナの工房の方はフレンドリーで、話すうちに共通の知り合いを発見したり、その日に完成したばかりの楽器を弾かせていただいたりと貴重な体験ができました。

ドイツ・オーストリア ベルリンフィルハーモニーの鑑賞は必須です！！好きな指揮者や演奏家、曲目の公演をめぐって行きましょう。ベルリン動物園では見たことのない動物たちの自然な姿を目にできます。ローテンブルクは街が可愛いだけでなく犯罪博物館で歴史を学ぶことができ（日本語表記があります）、ミュンヘンやフッセンではバイエルンの雰囲気味わえます。ご当地のビールやワインもぜひ楽しんでください。ハンブルクのミニチュアワンダーランドでは、世界を旅する気分になります。シュトゥットガルトのベンツ博物館は、馬や馬車から車になっていく様子を歴史とともに見ることができます。オーストリアはやはりウィーン、それから素朴な雰囲気のザルツブルク近辺がおすすめです。

ほかにもイギリスや北欧、中東など、興味のある地へ**社会情勢に注意して**赴いてみてください。



皆様が素敵な留学生活を送れることを願っています！！